

課題対応取組報告書

【共通】

名称	西成区地域包括支援センター				
提出日	令和	7	年	6	月 19 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐ その他（ ）	
活動テーマ	ケアマネつどいの場「ケアマネカフェ」	
地域ケア会議から 見えてきた課題	当圏域の居宅介護支援事業所数は突出して多い。しかしながら多くはケアマネジャーが1人か2人の小規模事業所である。事業所数が多いこともあり、そうした小規模事業所のケアマネジャーの多くは、交流や情報交換の機会があまり持てていなかった。地域ケア会議から見えてきた課題としては認知症や精神疾患、療育的な個人要因を持つケースが増加傾向にあることが上がっており、そうしたケースの多くは支援に多くの時間を要することも明らかである。早期発見、早期支援のためにも多職種連携が求められるが、まずは個別支援の要となる介護支援専門員の横のつながりをつくり、情報交換や知識習得を通じた専門性の向上を図ることが必要と考えられる。	
対象	介護支援専門員、関係団体、専門職	
地域特性	国道26号線、地下鉄、私鉄と交通至便なエリアであり、他の地域に比べさまざまな世代が流入しマンションが多い。区役所、区民センター、郵便局本局のある地域であり、スーパー、医療機関なども徒歩圏内に点在し生活しやすい。介護サービス事業所の数も多く、当圏域には区内142業所中74の居宅介護支援事業者がある。	
活動目標	・介護支援専門員が気軽に集まり、介護保険にとどまらない社会資源情報を知れる場を創出する。 ・介護支援専門員のニーズ把握を行い、他専門職との連携を通じて新たな社会資源創出につなげる。 ・認知症支援を通じた地域住民連携を考える。 ・地域と介護保険事業所の顔の見える関係づくりを進める。	
活動内容 (具体的取組)	・開催日と参加者数 令和4年度 2回開催 参加者 合計61名 令和5年度 11回開催 参加者 合計300名 令和6年度 5回開催 参加者 合計139名 ・テーマ 「あんしんさぼーとについて」「害虫駆除について」「生活支援コーディネーターさんに聞いてみよう」認知症状がある方とのコミュニケーション」「支援や医療に拒否がある方への対応」	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	・参加者へのアンケートも取りながら、月ごとにテーマを設定した。 ・冒頭にゲストに短い話をしてもらい、その内容について参加者が各テーブルで自由に意見交換をし、そこにゲストも加わって気軽に質問できるように工夫した。 ・会場にはケアマネジャーの業務に役立つような資料を揃え、参加者が持ち帰ることができる。 ・ここで知り合っつながりができる介護支援専門員もいた。 ・「テーマを見て関心がある時に参加する」「もっと回数を増やしてほしい」「同じような事をやりたい」などの意見が寄せられた。	
今後の課題	テーマは決まってもそれについて話せるゲストの選定に悩むことがあった。職員が様々な関係機関、職種とつながりを持ち、ケアマネジャーにつないでいくことが求められる。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 7 年 7 月 16 日 (水)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向け、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載	ケアマネジャーのニーズをアンケートを用いて分析・把握し、介護以外の社会資源情報等も提供し、気軽に集え質問できるよう開催方法も工夫し実施されている。ケアマネジャーの横のつながりづくりや、専門性向上に寄与しており高く評価できる。	